

## 地下室のメロディー

観賞日 2018・2・26

制作 1963年 フランス (白黒) 上映時間 118分  
公開 日本 1963年 8月  
監督 アンリ・ヴェルヌイユ  
脚本 ミッシェル・オーディアール アンリ・ヴェルヌイユ  
音楽 ミシェル・マーニュ  
出演者 ジャン・ギャバン アラン・ドロン ヴィヴィアンヌ・ロマンス

### (あらすじ)

5年の刑を終えて娑婆に出て来た老ギャングのシャルル(ジャン・ギャバン)は足を洗ってくれと縋る妻ジャネット(ヴィヴィアンヌ・ロマンス)を振り捨て、生涯最後の仕事としてカンヌのカジノの地下金庫から10億フランを強奪する綿密な計画を立て、昔の仲間のマリオを訪ねたが体が弱っているので参加出来ないと言う。そのため刑務所で目をつけていたチンピラの青年フランシス(アラン・ドロン)とその義兄のルイ(モーリス・ピロー)を仲間に引き入れた。金持の青年を装い、カンヌのホテルに滞在するフランシス、カジノの踊り子ブリジット(カルラ・マルリエ)と親しくなることでフランシスは一般客が立ち入れないカジノの舞台裏に出入りする口実を設けた。地下金庫襲撃は成功、10億フランの札束をバッグに詰めホテルに戻る。計画は成功したが思わぬ誤算が生じた、結末は如何に.....

### (解説)

フランス映画界の二大スター、ジャン・ギャバンとアラン・ドロンが共演した犯罪映画だが、シャープな感覚でファンキーなモダンジャズを効果的に使い、一級の娯楽映画とした。フランス・カンヌのカジノから大金を奪おうと企む引退寸前の老ギャングと若いチンピラの顛末を描く。

#### 【ジャン・ギャバン】(1904. 5. 17~1976. 11. 15 72才没)

往時のフランス映画を代表する名優・スターで、深みのある演技と渋い容貌で絶大な人気を得た。食事をする芝居が上手く、高倉健も食事の芝居はギャバンを見て勉強したと語っている。淀川長治も「ジャン・ギャバンは食べるのが上手な俳優」と語っていた。没後フランス映画の若い俳優に送られるジャン・ギャバン賞が設立されたがその後経緯が有りパトリック・ドヴェール賞と改名された。女優に送られるロミー・シュナイダー賞と相関関係にあるとの事。

#### 【アラン・ドロン】(1935. 11. 8~ 82才)

フランスの映画俳優。1960年代~1980年代初めにかけて美男の代名詞的存在だった。幼少期は家庭に恵まれず、居所を求めてフランス海軍に志願、第1次インドシナ戦争へ従軍、休戦協定により20歳で無事除隊、その後アメリカ、メキシコを放浪、サン・ジェルマンに落ち着き、縁が有って映画界へと進む。

《二人はこの後「シシリアン/1969」「暗黒街の二人/1973」で共演しファンを楽しませた》